

## ■地域課題解決に取り組んでみよう！コミュニティ、町内会で

貴方の地域でも、「課題解決型まちづくり」に取り組んでみませんか？



### 地域活動を円滑に進めるポイント

☆平成29年度モデル地区(楽田地区コミュニティ推進協議会)の経験から

楽田地区コミュニティ推進協議会には8つの部会があります。様々な地域活動を通じて、老若男女、様々な立場の人々が協議会運営に参加しています。

モデル事業の実施にあたっては、予てより地域課題としてクローズアップされてきた、子どもの貧困の問題、高齢者の孤立化の問題をテーマに取り上げることとしました。

#### 楽田地区の特徴

**拠点の活用・日頃のつながり**…楽田地区ではコミュニティ推進協議会が発足して20年余が経過しました。夏まつり、やどかり塾、クリスマス会をはじめとした数多くのイベントをふれあいセンターを拠点に開催しています。また、同好会・教室もさかんで、日頃から地区住民が顔を合わせる機会が多いことが特徴です。

#### 話し合い

**声かけ**…単に参加者を募集するだけでなく、中心となる**役員が直接声かけ**にまわり、話をすることで、毎回20名程度の方々に参加いただくことができました。

**学校との連携**…名古屋経済大学の地域連携センターを通して、学生さんにも参加いただきました。**若い学生さんたちの参加は大きな励み**にもなります。

**ワークショップ**…**小グループでの意見交換(ワークショップ)**を軸に話し合いを進めました。意見交換を効率的に、しかも楽しく進めることを心掛けました。

**事前準備**…お試し事業の企画原案をしろやま部会事務局で作成しました。**協議のたたき台を事前に作成・準備**することで、企画を考えるワークショップでは効率的な話し合いができました。

**調査・学習**…学習のための資料として、**行政資料(アンケート結果)や有識者の講演記録等を活用**しました。私たちの思いや考えが調査結果や有識者の見解と大きく外れていくわけではなく、むしろ大きな方向性は合致しているということが共有できました。確信を持って取り組みました。

#### お試し事業

**他団体の取り込み**…日頃からお付き合いのある各種団体に協力いただきました。**様々な団体からの協力**を得ることで、スタッフの負担の大幅な軽減を図ることができました。

## 地域で課題解決型まちづくりにチャレンジしてみませんか!!

### ■今なぜ、「課題解決型まちづくり」に取り組む必要があるのか？

- 最近、全国的には、地域の良いところに磨きを掛け、また気になるところを改善していくことで、自分たちが暮らす地域を自分たちの力で住みやすくしていこうとする取組がみられます。
- 従来は、公共サービスは行政が担うことが当たり前とされてきました。しかし、社会が多様化するなか、また財政事情が厳しさを増すにつれて、行政がすべての公共サービスを担うことが難しくなっています。
- 地域の住民と行政が一緒になって知恵を出し、汗をかくことで、地域の实情にあったきめ細やかな地域サービスを展開することが必要となっています。
- そこで、市では、こうした地域が自ら課題解決に取り組む、言わば「課題解決型まちづくり」を推進し、その普及を図っていきたいと考えています。

### ■まずは地域の力を高めるために、「課題解決の学び」を積み重ねましょう！

- しかしながら、地域の住民が主体的に行動し、地域の課題解決に取り組むには、まだまだ経験が足りません。ひとつひとつ経験を積み重ねていくことが必要です。
- 地域固有の課題の発見・抽出の方法、課題解決のための企画(デザイン)、関係者による合意形成の方法などを経験の中から学び、コミュニティの力を高めていく必要があります。
- 平成29年度、「課題解決の学び」に関わるモデル事業として、楽田地区において「地域の課題解決モデル事業」に取り組みました。本冊子は同事業のあらましを紹介しています。

#### 《モデル地区の紹介 ～楽田地区の地域資源～》

##### ☆楽田地区コミュニティ推進協議会20年余の活動

- 20年かけてつくり上げてきた人と人とのつながり、関係団体とのネットワーク
- 8部会が繰り広げる多彩な地域活動

##### ☆楽田ふれあいセンター(拠点施設)

- ワークショップなどにより住民主導で建設
- コミュニティ推進協議会が施設を管理・運営
- 24時間365日使用可能な施設



ふれあい夏まつり(8月)



住民主導で建設したふれあいセンターは地域の誇り



やどかり塾(12月)

## 2 調査分析・学習

『子どもと高齢者』をテーマに話し合いを重ねました。

### 1 地域の課題抽出

- ☆子どもや高齢者を取り巻く、地域の問題点や課題を抽出しよう！
- 問題点・課題をカードに書いて出し合い、みんなで意見交換しました。

#### 《話し合いのルール》

住民同士の話し合いに肩書き、立場は関係ありません。「対等な個人」としてアイデアを出し合います。お茶やお菓子などを用意し、リラックスした雰囲気の会場としましょう。なるべく多世代、男女均等な参加を得るために、PTAや地域の子ども会など他団体に参加を呼びかけましょう。

#### 《ポイント》

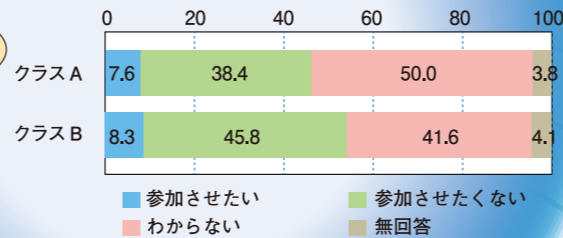
- ・傾聴！相手の話は「しっかり聴く」が基本です。
- ・話は手短に。長話には自ら「イエローカード」を。
- ・「…したい」、「…しよう」、ポジティブ発言大歓迎。
- ・他の意見を否定しないで。「ダメ」はNGワード。
- ・手も動かして、カードやシートに記録を残す。



- ☆友人・知人からの聞き取り調査を実施しました。
- ☆市が実施したアンケート調査の結果を学びました。
- ☆有識者の講演記録のエッセンスを学びました。
- テーマは『子どもの貧困問題とその対策』でした。

### ■市が実施した『子どもの貧困』についてのアンケート 子ども食堂に子どもを参加させたいか？

クラスA・Bの2つの調査結果



#### 《調査分析・学習にあたって》

事前の調査や学習を通じて、社会動向や地域住民のニーズを客観的なデータとして把握しましょう。客観的な分析、学習をすることで、説得力のある事業提案ができます。多くの人の共感を得やすくなります。

#### 《ポイント》

- ・数値で他地区と比較する、経年的な変化をみる。
- ・住民の意向を把握する（アンケート、ヒアリング等）。
- ・有識者、専門家の考え方を学ぶ。

## 5 事業の実践

- ☆お試し事業 **楽田村、わんだふる広場** を開催しました。
- ☆世代を超えたランチ・もてなしごっこ（たこ焼き、蒸しパンづくり）、ものづくり体験で楽しむ広場です。
- ☆よろず相談（健康相談、介護相談、学習相談）も同時開催しました。



平成30年2月12日（祝・月）に開催しました。のべ200人ほどの楽田住民が広場に集いました。

- 笑顔がたくさんあった。
- 多世代が参加してくれた。
- はじめてふれあいセンターを訪れたお年寄りもいた。

#### 《ポイント》

- ・当日を振り返るための写真記録やアンケートをとる。
- ・内容を広げすぎずに、テストとしてまずは実施してみる。

## 3 課題解決のためのアイデア出し

- ☆子どもや高齢者を取り巻く問題点・課題を再確認しつつ、地域やご近所のできる解決策について意見交換しました。

#### 《子ども》地域でできること

- ☆地域で子どもをみるシステムをつくる。
- ☆世代を超えた輪（子どもと高齢者の接点）をつくる。
- ☆先生の実情をもっと知る
- ☆子どもと向き合う（声掛け、子どもの話を聴く）
- ☆需要のリサーチ 実情を知る！
- ☆戸別訪問できるしくみ

#### 《高齢者》地域でできること

- ☆となり近所で高齢者を見守る。
- ☆地域で支えあう仕組み（ちょこっとお礼の支え合い）
- ☆困った人と助けたい人をつなぐコーディネーター。
- ☆外出を手伝う足の確保。
- ☆外出したくなる、利用したくなる取り組み
- ☆弱者の情報を集める。



#### 《ブレインストーミングのコツ》

参加者が自由にアイデアを出し合う話し合い（ブレインストーミング）を効果的に進めるために、次のポイントを意識して取り組みましょう。

#### 《ポイント》

- ・参加者が対等の立場で、自由に発言する。
- ・唐突なアイデア、奇抜なアイデアも遠慮なく出し合う。
- ・まずは多くのアイデアを出すことに尽力する。
- ・他人のアイデアをヒントにアイデアを発展させる。

## 6 事業の評価

- ☆お試し事業として実施した「**楽田村、わんだふる広場**」を振り返り、上手くいったこと（継続）、問題だと思ったこと（改善）について意見交換しました。
- ☆次年度以降の事業継続に向けた作戦会議となりました。



- 次年度以降への事業の「継続」・「定着」に向けて、意見が出ました。
- 地域の人の団らんから学び合っていこう。
  - はじめは、こじんまりとした形で継続していく。
  - 子ども・高齢者との対話にもっと時間を割いていこう。

#### 《ポイント》

- ・この事業の継続が当初に掲げた課題解決に結びつくのか、振り返る。
- ・事業を継続することが可能か、年間事業全体を見直す。

## 4 事業企画

- ☆『（仮称）ふれあい食堂』に対する思い・期待を話し合い考え方の共有を図りました。
- ☆事業計画案をたたき台に、より良い取組とするための意見を出し合いました。

